

*Lento Concert*

第5回コンサート  
混声合唱塾  
レント

災害復興支援チャリティー

2016年 9月22日(木・祝)

開場 13:30 開演 14:00

茅ヶ崎市民文化会館 大ホール

後援: 茅ヶ崎市、茅ヶ崎市教育委員会、茅ヶ崎市音楽協会

# プログラム

## 第Iステージ なつかしのメロディー

指揮：早河明子  
ピアノ：佐藤やえこ

そこに風がいる 岩沢千春 作詞／黒沢吉徳 作曲  
ずいずいずっこころばし わらべうた／松平 敬 編曲  
汽車ポップ 本居長世 作詞・作曲／篠原 真 編曲  
銚をおさめて 時雨音羽 詩／中山晋平 作曲／林 光 編曲  
赤とんぼ 三木露風 作詞／山田耕筰 作曲 独唱：林 紀子

混声合唱のための日本民謡メドレー 鈴木憲夫 編曲  
ハア ドッコイショ  
佐渡おけさ～南部牛追い歌～ソーラン節～竹田の子守唄～会津磐梯山

## 第IIステージ 混声合唱のための組曲「蔵王」

指揮：林 紀子  
ピアノ：佐藤やえこ

尾崎左永子 作詞／佐藤 眞 作曲

- I 蔵王讃歌
- II 投げよう林檎を
- III 苔の花
- IV どっこ沼
- V おはなし
- VI 雪むすめ
- VII 吹雪
- VIII 樹氷林
- IX 早春

休憩(15分)

## 第IIIステージ ヴェルディのオペラの世界から

指揮：林 紀子  
アイダ：早河明子  
ラダメス：俵・中村・野沢(団員)  
巫女・アムネリス：佐竹(団員)  
トランペット：吉川禎一  
フルート：林 英嗣  
オーボエ：川村美樹  
チェロ：佐藤史土  
ピアノ：佐藤やえこ

《アイダ》より

- 第1幕 「たて！ナイルの神の聖なる岸辺に」(合唱)  
「勝ちて帰れ」(アイダ)  
「巫女の舞」(巫女・合唱)  
第2幕 「凱行進曲」(合唱)  
第4幕 「フター神への讃歌～さようなら大地」  
(アイダ・ラダメス・アムネリス・合唱)

《ナブッコ》より

「行けわが想いよ、黄金の翼に乗って」

# プログラムノート(解説)

## 第Ⅰステージ なつかしのメロディー

### そこに風がいる

爽やかな湘南の海や松林を思わせるレントのイメージソングです。

### ずいずいずっころばし

遊び歌としても知られている童謡です。お茶壺道中(新茶を将軍に献上する行列)が通り過ぎるまで、こどもたちが家の中で息を潜めていると、米をかじっているネズミの鳴き声や井戸の近くで茶碗が割れる音が聞こえてきます。

### 汽車ポッポ

1937年に「兵隊さんの汽車」として世に出て、2007年に日本の歌百選に選ばれました。童心に返り、楽しい気持ちになります。

### 鉾をおさめて

1928年に藤原義江の歌でヒットした、鯨捕りの男らしく勇ましい曲です。

### 赤とんぼ

露風が北海道の聖トラス修道院に勤めていた頃に、母への慕情を歌ったもので郷愁がかきたてられます。山田耕筰が茅ヶ崎在任時に作った曲です。

### ハア ドッコイショ

佐渡おけさ(新潟県)～南部牛追い歌(岩手県)～ソーラン節(北海道)～竹田の子守唄(京都府)～会津磐梯山(福島県) から成る日本の民謡メドレーです。

## 第Ⅱステージ 混声合唱のための組曲「蔵王」

1961年に第16回文部省芸術祭合唱部門参加作品としてニッポン放送の依頼を受けて作曲されました。1991年に改訂され、今なお多くの合唱団に愛唱され続けています。この組曲は9曲で構成され、蔵王の四季の移り変わりを表現しています。特に冬に関する曲が多く、第1楽章から第5楽章まで前奏がないのが特徴で、どの曲を取り出しても独立して歌えるように作曲されています。

### I 蔵王讃歌

「みちのくをふたわけざまに そびえたまふ 蔵王の山の雲の中に立つ / 斎藤茂吉」  
蔵王の春について表現した明るい曲で、蔵王を讃えます。

### II 投げよう林檎を

籠いちめんの菜の花が終わり、やがて青葉の繁り。蔵王の山肌は藍色にひかり、夏が訪れます。峰々をめざして、都会の若者がやってきます。雲を仰いで、さくさくと林檎(りんご)をかむ若者の様子が思い浮かぶ軽快な曲です。

### III 苔の花

高原は、初夏を迎えて花の世界となります。青苔までが、点々とほのじろいかすかな花を咲かせたように見えます。ゆったりしたテンポでしずかな山の夏を表現します。

### IV どっこ沼

顔をうつせば吸い込まれそうな明澄な山の沼、孤独な沼、静寂な沼。蔵王の沼の中でも最も親しまれているのがどっこ沼です。

### V おはなし

秋から冬に季節が移り変わり、いろりを囲んで長い冬ごもりが始まります。孫たちはお爺ちゃんにおはなしをせがみます。

## VI 雪むすめ

古くから語り継がれてきた民話のひとつを宝石のように表現した美しく穏やかな曲です。

## VII 吹雪

春が近づく中で山は突如夜に激しい吹雪に襲われ、冬將軍の激しい剣が木々や大地をうちめします。

## VIII 樹氷林

激しい吹雪の一夜が明けてできた蔵王の樹氷林。そこには不気味なほど静かな夜が訪れます。増三和音によって神秘的な雰囲気がかもし出されます。

## IX 早春

厳しい冬が去り、再び春が訪れます。遠く響くなだれの音さえ、北国の春のかがやかしい序曲にきこえます。同じ作曲者による組曲《土の歌》の終曲「大地讃頌」と同様に、壮大で明るいう曲です。

## 第Ⅲステージ ヴェルディのオペラの世界から

### 《アイーダ》より

スエズ運河の開通を祝って1871年にエジプトの首都カイロで初演されたヴェルディ円熟期の作品です。古代エジプトを舞台に、敵国エチオピアの王女アイーダとエジプト軍の將軍ラダメスの悲恋の物語。この二人にやはりラダメスを想うエジプトの王女アムネリスがからみます。

#### 第1幕 第1場:「たて！ ナイルの神の聖なる岸辺に」「勝ちて帰れ」

首都メンフィスの王宮。エチオピア討伐の指揮官に任命されたラダメスを鼓舞する合唱。そして、それに唱和しつつ、身分を隠して捕虜となっているアイーダが、ラダメスへの愛と祖国への裏切りの気持ちに引き裂かれながら苦しい胸の内を歌います。

#### 第1幕 第2場:「巫女の舞」

王宮内の神殿で、ラダメスが聖なる剣を受け、祭司たちと巫女たちが歌い、舞います。

#### 第2幕 第2場:「凱旋行進曲」

長い戦いの末、エジプトが勝利し、ラダメス率いる軍が凱旋します。エジプト王はラダメスにアムネリスをめとらせ、自分の跡を継ぐように言いますが…。

#### 第4幕 第2場:「フター神への讃歌～さようなら大地」

ラダメスは、愛するアイーダに軍の秘密をもらしてしまい反逆罪で捕えられ、生き埋めの刑を宣言されます。墓となる地下牢には、アイーダが忍び込んでいました。二人は永遠の愛を誓いながら死んでいきます。その時、アムネリスは神が二人を天国に導いてくれるよう祈ります。

### 《ナブッコ》より

#### 「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」

戦いに敗れて奴隷の身になった民が故郷を偲んで歌った曲です。中世以降、小国に分裂して混乱していたイタリアは、失われた祖国を想うこの曲に自らの運命を重ね合わせ共感したのでした。そして曲の最後では「琴の音を奏で、苦しみに耐える力を与えてくれ」と、黄金の堅琴に想いを託します。

東日本大震災の傷も癒えぬ中で発生した熊本地震を含めて、被災者の方々の想いを胸に、本日のコンサートの締めくくりの曲とさせていただきます。

# プロフィール

## 早河明子(指揮者、ソプラノ歌手)



湘南白百合学園、国立音楽大学声楽科卒業。大場岑子、岩崎由紀子各氏に師事。第二回日本演奏家コンクール、第一位受賞。東欧の国立歌劇場にて、02年『ノルマ』のタイトルロールを歌ったのをきっかけに、その後『椿姫』、『トスカ』、『イル、トロヴァトーレ』、『蝶々夫人』、『トゥーランドット』、『アイダ』などの様々な主要なヒロインを演じ続け、現在そのレパートリーは21演目に達している。オペラピッチャーレを主宰し、歌手を目指す人の為の講習会や公演を日本とルーマニアで企画主宰するなど日本とルーマニアの文化交流に尽力している。一方、合唱の分野でも指揮者として、またボイストレーナーとしての活動も続けている。横浜シティーオペラ・首都オペラ各会員、オペラピッチャーレを主宰。そのアリア(詠唱)は、豊かな音楽性と華やかさに溢れ聴衆を魅了する。

## 林 紀子(指揮者、ソプラノ歌手)



湘南白百合学園、国立音楽大学声楽科卒業。大場岑子、小川雄二、岩崎由紀子の各氏に師事。第14回新・波の会日本歌曲コンクール入選。"オペラアリア・重唱の夕べ"、"中田喜直歌曲コンサート" 2007年「木下牧子歌曲コンサート」、2008年「シューベルト歌曲コンサート」など数々のコンサートに出演。2014年「浜野美津子の作曲による日本の情歌」CDをリリース。混声合唱塾レントの他に、「藤沢市立看護専門学校」、鎌倉「Sotto Voce」、藤沢アカデミー「コール五十鈴」、藤沢市老人センターやすらぎ荘の「童謡・唱歌よるこび会」、「御所見コーラス」等、多くの合唱団を指導している。湘南演奏家協会、平塚音楽家協会、ぐるーぷ・なべ各会員。藤沢にて「花の木音楽教室」を主宰。美しい日本語で歌い上げる詩情豊かな日本歌曲は定評がある。

## 佐藤やえこ(ピアノ)



桐朋学園音楽大学付属高校音楽科、同大学ピアノ科卒業。三浦みどり、井口秋子、照澤惟佐子の各氏に師事。同大学付属「子供のための音楽教室」元講師。中田喜直、三善晃、高田三郎、湯山昭など多くの作曲家のレッスンを受ける。国内外でオペラ、歌曲、器楽曲などのアンサンブル活動を行う一方、混声合唱塾レントの他、「御所見コーラス」、合唱団「湘南の風」、「ソレユコ」、「あかしや」のピアニストを務める。また、「平塚めぐみこども園」にて毎月ボランティアコンサートを行っている。アンサンブル・アスコルタメンバー、平塚音楽家協会会員。ピアノ一台を自在に操るみごとなオーケストレーションとドラマティックな音楽の作りで好評を博している。

## 吉川禎一(トランペット)



国立音楽大学卒業。トランペットを北村源三、熊谷仁士の両氏に、室内楽を伊藤清、三浦清の両氏に師事。現在、フリーの奏者としてオーケストラ、室内楽、アンサンブルなどを中心に活動。神奈川県立弥栄高等学校芸術科非常勤講師。相模原音楽家連盟会員。

## 林 英嗣(フルート)



国立音楽大学器楽学科(フルート専攻)卒業。宮本明恭、佐藤菊夫、西川清子の諸氏に師事。これまでにフルートリサイタル7回の他、ソロ・室内楽・オーケストラ活動を行う。2004年10月にフルートアンサンブルでチェコ・プラハに演奏旅行。吉祥寺ミュージックアカデミー、花の木音楽教室主宰。

## 川村美樹(オーボエ)



桐朋学園大学4年に在学中。井口博之、関水萌子、郷崎耕三、浦文彦、広田智之の各氏に師事。第14回ジュニア管打楽器コンクール高校生部門銀賞、第16回大阪国際コンクール木管楽器部門エスポワール賞受賞。

## 佐藤史土(チェロ)



慶應義塾大学工学部卒業。幼少よりピアノを習い、チェロと作曲を独学する。環境音楽家の故・吉村弘氏らと「麗会」等にて即興演奏を手掛ける。現在、画廊等にて即興ユニット「トマンズ」のライブ活動に注力している。絵画彫刻等のアートおよび音楽演奏を評論するブログ「ジョヴァンニッキ2」で、独特の鋭い評論を展開する。

# ごあいさつ

本日はお忙しい中、混声合唱塾レントの第5回コンサートにお越しいただき誠にありがとうございます。  
東日本大震災の発生から5年が経ち、ようやく復興の歩みが進んできたこの時期に今度は熊本という思いもよらぬ土地で大きな地震の被害が発生し、被災者の方々は未だに余震に対する恐怖のために不安な毎日を送っておられます。このような状況に鑑み、私たちは今回のコンサートも引き続き災害復興支援のためのチャリティーコンサートとして行うことにいたしました。

現在レントのメンバーは大半がシニア世代であり年々平均年齢も上がってきておりますが、歌に対する情熱は衰えることなく、熱く辛抱強い先生方のご指導を得て様々なジャンルの曲に取り組んでおります。

本日の第1ステージは前回のコンサートのアンケート結果を反映させて、誰もが知っている懐かしい童謡や民謡で構成しました。第2ステージの組曲「蔵王」は、作曲者が「広く一般に歌われるよう技術的にやさしいものを目指した」とされ、今なお多くの合唱団で歌い継がれていますが、私たちににとってはかなりの難度の高いものでした。最終ステージは恒例となったオペラですが、今回はサッカーの応援歌「凱旋行進曲」でお馴染みの「アイダ」です。イタリア語特有の早口ことばに悪戦苦闘した結果をご披露いたします。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

最後に、本日の演奏会にあたりご支援、ご協力を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

混声合唱塾レント代表 俵 誠

## レントメンバー(41名)

### 《ソプラノ(13名)》

梅本紀子、春日紀子、熊澤光江、坂口洋子、佐竹洋子、関口悦子、高山玲子、竹村美幸  
西野明子、本渡 紫、真崎光洋、山崎あつ子、渡辺美千子

### 《アルト(12名)》

柿沼礼子、加藤悦子、久保田苑子、佐藤ちづ子、滝田郁子、平手篤子、平野康子、  
細貝貞子、細谷スミ江、三富春美、茂木静子、横山京子

### 《テノール(8名)》

加藤淳一、田井精一、高山範雄、俵 誠、中村 廣、野沢兌次、松田次郎、山崎 宏

### 《バス(8名)》

石井幹雄、池浦理信、小川和夫、黄川田 栄、岸間 正、竹村喜久治、宮内孝一、渡邊秀夫

## レントの歩み

2002年	4月	混声合唱塾レント発足(茅ヶ崎市香川聖恵幼稚園)
2005年	9月	第1回コンサート 茅ヶ崎市民文化会館小ホール
2008年	9月	第2回コンサート 茅ヶ崎市民文化会館大ホール
2011年	9月	第3回コンサート 茅ヶ崎市民文化会館大ホール
2013年	5月	茅ヶ崎交響楽団創立30周年記念 第59回定期演奏会 歌劇「椿姫」に出演 茅ヶ崎市民文化会館大ホール
2014年	9月	第4回コンサート 茅ヶ崎市民文化会館大ホール
2016年	9月	第5回コンサート 茅ヶ崎市民文化会館大ホール

本日のコンサート開催に際してご協力いただきました下記の皆様に感謝いたします。

京田典子 石井道明 西村愛子 加藤令子 春日勇 松田道子 コール香川の皆さん(敬称略)

## 《塾生大募集!》・・・みなさん、いっしょにうたいませんか?

練習日:原則 月3回(第1、第2、第4土曜日午前)

練習場所:ケヤキルーム(茅ヶ崎市香川7-9-24)、他

会費:2500円/月 入会費:なし

連絡先:俵 (TEL 0467-52-4190)

高山 (TEL 0467-52-7553)

